



ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト 第2回公開講座

「魅力あるまちなみと豊かな生活」(神戸芸術工科大学准教授 佐々木宏幸)

2010年3月14日(日)午前10時より、ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト 第2回公開講座「魅力あるまちなみと豊かな生活」(神戸芸術工科大学准教授・佐々木宏幸)が行われ、20組25名の方に御参加いただきました。講義前には神戸芸術工科大学学長・齊木崇人氏よりあいさつがありました。ここで

は齊木学長が、舞多聞てらいけプロジェクトの意義を語られました。引き続き佐々木宏幸氏による講義が行われました。アメリカの先進的な事例を紹介しながら舞多聞てらいけプロジェクトの理念を中心に講義されました。講義後には参加者との活発な議論が行われました。



— 大学で学ぶ新しい住まい方 —

神戸のなかで いちばん気持ちの よいまちにしたい

みんなでつくる舞多聞てらいけプロジェクト

UR × KDU × MyLife

UR 都市機構

神戸芸術工科大学
KOBEL DESIGN UNIVERSITY

これから住もうみなさん

第2回てらいけ公開講座のお知らせ

【日時】2010年3月14日(日) 10:00～12:00まで(予定)

【場所】神戸芸術工科大学 クリエイティブセンター2階 プレゼンテーションルーム

【参加費】無料【締め切り】2010年3月12日(金) 13:00まで

講座内容

『魅力あるまちなみと豊かな生活』

アメリカにおけるコミュニティ開発の事例をもとに、てらいけが目指すべき空間像、生活像について考えます。

コーディネーター：佐々木宏幸

神戸芸術工科大学 環境・建築デザイン学科 准教授

Freedman Tung Sasaki Urban Design 神戸オフィス代表

過去10年にわたり、アメリカにおける都市再生、コミュニティ開発、公共空間デザインプロジェクトを多数手がける。

新しい
自然住宅地

明石海峡大橋
を望む



てらいけ公開講座申込先・問い合わせ先

【お申し込み】

ご希望の方は、①氏名 ②連絡先 ③参加人数

④参加の有無を記入の上、FAXまたはE-mailにてご連絡下さい。

「舞多聞倶楽部」事務局 fax 0120-781-021

E-mail info@maitamom.jp

【公開講座に関する問い合わせ先】

神戸芸術工科大学 (鎌田)

〒651-2196 神戸市西区学園西町8-1-1

tel:078-794-5263/fax 078-796-2559(平日10:00-18:00)

第2回公開講座

「魅力あるまちなみと豊かな生活」

第1回公開講座・現地見学会の概略、アンケートの概要と『てらいけプロジェクト』のこれからの方向性について話されました。

第1回公開講座・現地見学会の概略

神戸芸術工科大学がサポートするガーデンシティ舞多間「みついけプロジェクト」のまちづくりの理念を「てらいけプロジェクト」が目指すまちづくりのコンセプトとして継承します。

①住む人が誇りの持てる自然豊かな「まちのデザイン」、②豊かな居住環境に対する価値観を共有できる「コミュニティのデザイン」、③魅力ある空間と豊かな暮らしを持続させる「コミュニティマネジメント」を提示しました。

これまでの蓄積された経験と、創出された価値を共有し、さらに発展したまちづくりを目指して「てらいけプロジェクト」がスタートしました。

「魅力あるまちなみと豊かな生活」

まず、魅力あるまちなみがつくり出す豊かな生活をアメリカの事例からそのエッセンスを紹介されました。

セント・フランシス・ウッド(カリフォルニア州サンフランシスコ)では、主にまちなみを形成する要素(街路樹、駐車場への配慮等)の重要性、シーサイド(フロリダ州パナマ・シティ)では、主に地域コミュニティの重要性やオープンスペースの役割を、ビレッジ・ホームズ(カリフォルニア州デービス市)では、環境への配慮・工夫、歩行者空間のデザイン、菜園や広場・集会場などのコミュニティ空間の魅力が紹介されました。

このような事例の共通点として、「そこに住む住民が誇りに思えるまち」であることが指摘されました。加えて価値観の共有によるまちなみの魅力の創出と質の高い生活環境の維持・向上が大きな要因であると話されました。例えば、質の高いまちなみ(オープンスペース、ストリート)、豊かな緑、街路樹、植栽、まちなみへの配慮(建物の向き、駐車場の位置)、住民同士の自然なコミュニケーション、環境・エコへの配慮がそこに住む住民としての誇りは、まちなみや住まいの価値の維持・向上において重要な要素であると説明されました。



ガーデンシティ舞多間みついけエリア



あいさつ(齊木崇人氏)



講座の様子(佐々木宏幸氏)

セント・フランシス・ウッド



シーサイド



ビレッジ・ホームズ



「てらいけエリアにできること」

質の高いまちなみを実現するため、てらいけプロジェクトにおいて5つのポイントを示されました。

- ①セミパブリックスペース：個々の建物の美しさだけではなく、歩道空間や車道空間、住宅の前庭含む前面空間の質を向上することがまちなみの質へとつながります。また、コモンスペース（共有地）や広場も重要な要素となります。
- ②豊かな緑、街路樹、植栽：緑豊かな街路がつくり出すまちなみやてらいけエリア周辺の現況林に囲まれた緑地をいかしたまちづくりが重要な要素となります。
- ③まちなみへの配慮：建物がつくり出すまちなみの表情が豊であることも重要です。建物の向きや配置、駐車場の位置を工夫してまちなみの質を向上することも重要な要素となります。また、みついいけエリアで運用している建築・緑地のルール（建築協定・緑地協定・ガイドライン）も非常に良い参考事例となります。
- ④住民同士の自然なコミュニケーション：質の高いまちなみは空間だけでは成立しません。やはり、住民同士のコミュニケーションは重要な要素となります。つまり、まちなみのデザイン、住宅のデザイン、そしてコミュニティのデザインが必要です。コミュニティは押しつけではなく、ゆるやかであればより豊になります。
- ⑤環境・エコへの配慮：自然豊かなてらいけではまちなみ自体がエコに配慮したエリアと言えます。さらに住まいの工夫によって環境・エコに配慮することも重要な要素です。

以上より、てらいけにしかない魅力創出のためには、住民による価値観の共有が必要であり、それを具体化するためにみんなでつくるまちづくりのルールも必要であると言えます。次回は住民参加によるまちづくりを進めて行きたいと思います。



まちなみのイメージ



まちなみのイメージ

てらいけエリアの現地写真

2009.11.29撮影



てらいけからの眺望



てらいけの現況林



てらいけからの眺望



てらいけエリアのパノラマ(明石海峡方面)

(自由記入欄の紹介)「てらいけプロジェクト」に期待することは？

- ・私達家族の思っているまちなみです。どうか他の方も同じ考えでありますように。
 - ・わかりやすく、熱意があって期待しています。(3)
 - ・セミパブリックスペースについてのお話にとても共感を覚えました。(2)
 - ・コミュニティの大切さ考えさせられました。日々の生活の中で、自然なコミュニケーションをとれそうな空間にとても期待します。
 - ・自然に対して土地を上手に利用している。人とのふれあいを大切にしながら個も守られている。都会の中の静かな田舎ぐらしが魅力的です。
 - ・失敗事例で、その原因・対策を勉強したいです。
 - ・ニーズがあれば無農薬で地域周辺の方に販売し、収穫祭などイベントで楽しいライフスタイルを提供していただけたらと思いました。
 - ・緑に囲まれてゆとりある住い環境を作り、そして守る支援運動や自分のまちを自分で育てるまちづくり。
 - ・ゆったりとした気持ちで住まうということは、やはり住環境そのものにゆとりがあることが望ましい、ということ強く感じました。
 - ・セキュリティのことも少しお話がありましたが、車で通り抜けができないようにしていただきたいと思いますが、他からの人をしめ出すような街にはしたくないと思います。
 - ・今日はお話にありました空間作りにとても興味を持ちました。家の中の空間や家と外の空間作りを今から考えながら暮らしてみたいです。
 - ・車道と歩道が分かれている、例えば、数世帯が駐車場を共有して人が安心して歩いたり、遊んだりスペースがあればいいと思います。数世帯が広場を共有するのはいいと思いました。
 - ・日常の暮らしが豊かに楽しめることの価値を実感できる街を期待します。多世代で住める様、デイサービス施設もあれば年を取っても日々の延長で利用することができます。
 - ・太陽光発電と屋根の構造。・地域が共同で行う太陽光発電。
 - ・てらいけプロジェクトの思想に共感して、実行していこうとする人が、優先して入居できる仕組みとなる事を期待します。(4)
 - ・参加者が考える場、発言する場を増やして頂きたい。
 - ・講座を受けていない一般応募の方はこのルール価値感が理解できるのでしょうか。
- 以上、多くのご意見ありがとうございました。みなさまのご意見をみなさんといっしょにてらいけプロジェクトのまちづくりに活かしていくように今後の公開講座・ワークショップを行っていきたくと考えておりますので、どうぞよろしくおねがいいたします。

次回の予告

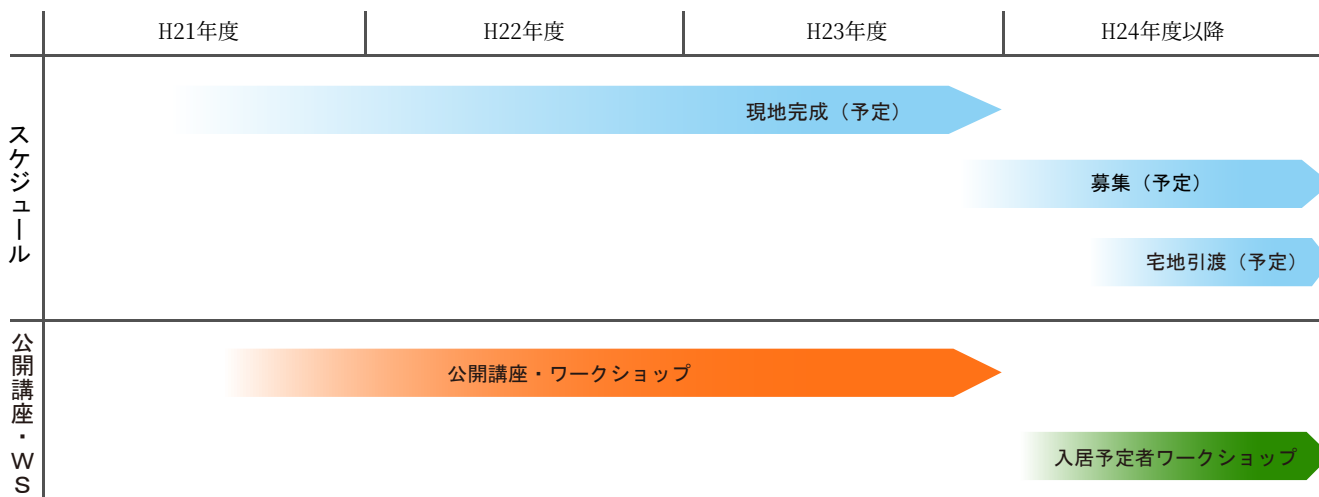
これからもてらいけプロジェクトのまちづくりや住まいづくりの講義やみなさんと一緒になってまちづくりを考える機会を予定しています。詳細は後日、郵送・ホームページにてご案内させていただきます。

ガーデンシティ舞多間てらいけプロジェクトスケジュール（予定）

今後の予定について、以下の図で紹介させていただきます。

てらいけプロジェクトはH23年度末の現地完成を目指して現在工事を進めております。

H21年度末からH23年度にかけては、公開講座・ワークショップを開催し、みなさまと一緒にてらいけプロジェクトのまちづくりを進めていく予定です。



※注：現時点での計画であり今後変更する場合があります。

てらいけプロジェクトのこれから

てらいけプロジェクトのエリア面積は約12haと、みついきプロジェクト(約6ha)より大きなエリアで計画が進められています。この新しい自然地住宅は、「みついきプロジェクト」で蓄積した経験とコンセプトが引き継がれ、2011年度末の宅地完成を目指して工事が進んでいます。大学とUR都市機構では、てらいけプロジェクトの「コミュニティデザイン」「スペースデザイン」「ハウジングデザイン」についての検討を、継続的に進めてきましたが、今後予定している公開講座や住民参加型ワークショップによってみなさんと一緒にまちの価値の創出を目指していきます。

特に、UR都市機構の提案する、「新・郊外居住宣言」に基づいたまちづくりを基本として、てらいけプロジェクトを進めていきます。ここでは「新・郊外居住宣言」を紹介しました。

てらいけプロジェクトのコンセプト (新・郊外居住宣言)

21世紀を迎えて、宅地の大量供給の時代は去り、都心居住の傾向が進んできていますが、郊外居住のニーズは相変わらず根強いものがあります。21世紀は、郊外ならではの魅力を評価し積極的に選択するという時代になってきています。

都市機構では、新しい郊外の暮らしについて、21世紀を中長期的に見据え、幅広い視点から検討しました。『新・郊外居住』宣言とは、これらの成果をもとに魅力ある郊外居住のあり方とその実現のための取組みの方向性が提言としてとりまとめられたものです。

提言1 日本の美しい風景を再生し創造する

21世紀の郊外のまちづくりは、居住者の自慢になり、アイデンティティになる地域固有の美しい風景を、再生し、また、創造し、必要に応じて保全していくべきであると考えます。



提言2 暮らしの中心に出会いの空間がある

まちを育てていくための装置として、居住者の共有の空間を求心的に配置して、人々の出会いの空間のシンボルやランドマークとして機能させることが有効であると考えます。



提言3 広い庭があるゆとりの敷地に住む

暮らしを支える基本としての「家庭」=「家」+「庭」を重視するべきであると考えます。

空間的なゆとりは、精神的なゆとりを引き出します。また、広い庭は家とまちの緩やかな関係を演出し、美しい街並みを実現します。



提言4 環境に負荷を与えない生活を営む

郊外には豊富な環境資源があるので、地球環境への相当の貢献が期待されています。

国内の意識高揚を先導し、海外への訴求効果を高めるためにも、地球環境問題に意識の高い居住者と協働して、低負荷循環型の生活を実現すべきと考えます。



提言5 自分のまちを自分でつくる・育てる

事業者サイドから提供される規格品ではなく、居住者自らデザインするオリジナルなものであるべきと考えます



提言6 まちの世話人がいる

まちを育てるためには、居住者の主体的・持続的な関与と、緩やかな関係でのコミュニティの形成が前提となりますが、居住者間の意見を調整しながら行うには、専門的な知識が必要です。



提言7 豊かな生活を手頃な価格で実現する

ライフステージに応じた居住環境を実現するために、容易に住み替えができるシステムの構築が必要です。

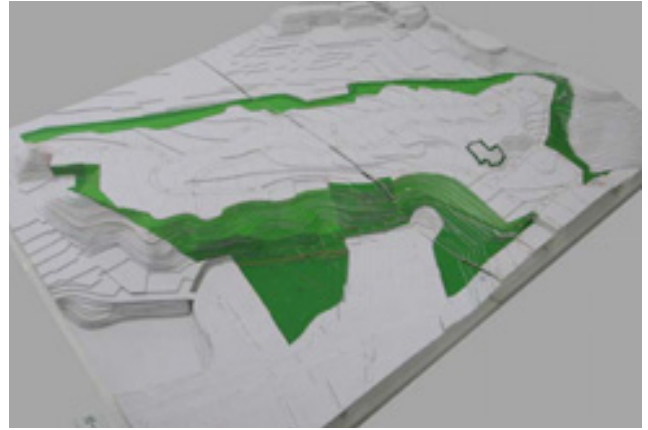
また、相互扶助的な取り組み等により、総合的に生活コストを低減することも必要です。



てらいけプロジェクトの住まいのイメージ

「新・郊外居住宣言」を紹介につづき、てらいけプロジェクトの住まいの提案(イメージ)を紹介します。

研究室では、てらいけプロジェクトにおいて、面積約300㎡～1500㎡の画地を提案しています。「広々とした庭をもつ、ゆとりある暮らし」や「樹林の中にたたずむ、美しい風景のある暮らし」、「美しい風景が望め、広いテラスのある暮らし」、「通りに表情を持つ、コンパクトで豊かな暮らし」など、バラエティに富んだ自然地住宅を提案しています。



てらいけプロジェクト模型写真

こんな暮らしを提案します

A 広々とした庭をもつ、ゆとりのある暮らし



イメージ写真

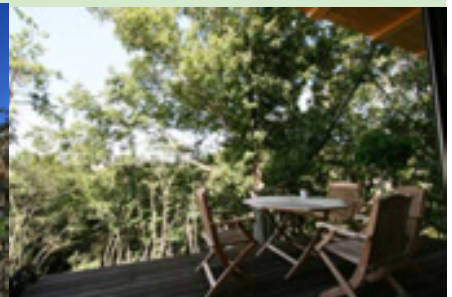


イメージ写真

B 樹林の中にたたずむ、美しい風景のある暮らし



イメージ写真



イメージ写真

C 美しい風景が望め、広いテラスのある暮らし



イメージ写真



イメージ写真

D 通りに表情を持つ、コンパクトで豊かな暮らし



イメージ写真



イメージ写真